

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

朝のテレビ情報番組で世界中から発信される悲惨な交通事故現場の映像。多くがドライブレコーダーの映像だ。北陸方面から国道

148号線を行き交う大型貨物車両、運行時間の制約があるのか赤信号でも通過してしまう現場に度々遭遇する。所有する軽トラックには、ドライブレコーダーが装備されていなかったのも、もしもの時の被害の証拠を映像に残したいと、設置を自動車整備工場に依頼する。簡単な作業と予想したよりも低額料金だった。これからは新車全車両に装置が義務付けられるのだろう。

新型コロナウイルス対策のために国では産業基盤を守らなければとさまざまな財政出動を行っている。また共同通信が行ったアンケートでは、全国の都道府県と市区町村の88%が財政悪化を見込んでいると伝えた。預貯金に当たる基金を新型コロナウイルス対策に充てる自治体も目立ち、全日空

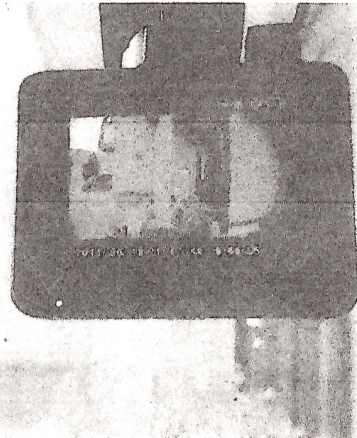
これからの経済見通しを楽観しすぎるのは危険だ

社員の年収3割減や冬の一時金の大幅な減の企業情報も。これらは税収の減少につながる。より行政サービス、の低下は避けることができないだろう。影響が少なくないと回答したのは、小規模町村の一部。高齡化社会に対応するために「大規模自治体合併」との掛け声が、非常時に大きな課題を残したのは皮肉だ。令和3年度予算編成の時期だ。ワクチンが完成したら問題の多くが解決するとの甘い認識が

らない。1930年代にアメリカを皮切りに世界的に起こった深刻な経済恐慌。アメリカの株価の大暴落から始まり、世界の株式市場の暴落。多くの国で建設が事実上停止、国際貿易は50%以上減少し失業者が大規模に発生。農産物の価格が約65%下落し、鉱業や伐採などの第一次産業に依存している地域が最も被害を受けた。ヤニス・バルファキスさんの著書『父が娘に語る美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話』では、元財務大臣が10代の娘に語る内容だ。金融危

機のある不況では、歯車が逆回転する実態が書かれ、不況になると、どんなドミノ倒し

らないうつ、各自治体リーダーは、積極的に現状を伝えるべきなのだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



ドライブレコーダーの映像は、自らの安全運転状況を記録する為でもある